

C18a 全方位パノラマ映像を利用した歴史的な天体観測施設のオンライン教材

馬場幸栄（国立天文台）

多くの人に天文学史を学んでもらうために、国立天文台三鷹キャンパスは積極的に見学者を受け入れ、歴史的な天体観測施設を多数公開している。だが、ほとんどの天体観測施設は建造物であるため、三鷹キャンパスを自ら訪れることが難しい人々、たとえば入院・障害・育児・家事・介護・仕事・経済的困窮などの理由で三鷹キャンパスへ来られない方々はそれらの施設を見学することができない。さらに、それら観測施設の多くは見学者の立入りを想定せずに設計されているので、見学者の安全を確保するために、どうしても施設の一部を立入禁止とせざるをえない。

これらの問題に対処して施設公開のバリアフリー化を進めるために、直接に来訪できる人もできない人も立入禁止エリアを含む歴史的な天体観測施設を手軽に鑑賞・観察できる全方位パノラマ映像をオンライン教材として制作した。制作に際しては、一般的なデジタル一眼レフカメラとレンズを用いつつ、パノラマ用画像を効率よく撮影できる特殊雲台 Roundshot VR Drive（Seitz社）を採用した。また、画像のスティッチングとオーサリングには Autopano Giga（Kolor社）や krpano（krpano社）等の画像処理ソフトを用いた。本講演では、全方位パノラマ映像を歴史的な天体観測施設のオンライン教材として用いることの有用性と、今後の課題について議論する。